

パラリンピック出場までの道のり

一般社団法人日本パラ射撃連盟
選手強化委員会 ナショナルコーチ部会



★ パラリンピック出場までの道のり ★

“国内基盤”から“国際舞台”へ – 段階的なプロセスで目的達成

① 国内基盤

- ・ 会員登録
- ・ 国内クラス分け受検
- ・ IPCライセンス登録



② 強化/育成選手

- ・ 基準点達成
- ・ 強化合宿への参加
- ・ 国際大会への参加
- ・ 国際クラス分け受検



③ MQS達成

- ・ MQS(最低資格基準点)の達成



④ DQ獲得

- ・ 対象大会においてDQ(出場枠)の獲得



⑤ 代表選考

- ・ パラリンピック出場



【Point】 パラリンピックへの出場は「積み上げ型のプロセス」であり、偶然では到達できません。
→準備の速さ・試合数・計画・経験値がすべてを決める

①国内基盤の確立：会員登録－クラス分け－IPCライセンス登録

STEP1 会員登録

- ・連盟の会員になる。
 - ・未登録では連盟に対するすべての手続きが申請できない。
- ★すべてのスタート地点



STEP2 国内クラス分け資格の獲得

- ・国内クラス分け判定会を受検し、クラス分けの認定を受ける。
 - ・連盟主催大会への参加が可能となる。
- ★国内で競技者として正式に認定される。



STEP3 IPCライセンス登録

- ・IPCライセンス申請、登録を行う。
 - ・国際大会参加に向けた登録であり、登録後は登録者を対象とした合宿等強化事業に参加することに加え、連盟のナショナルチームコーチ等が発信する国際大会等の情報を取得できる。
- ★国際大会出場が視野に入る。

【Point】 IPCライセンス登録は国際大会出場および強化/育成選手申請の最低条件です。
登録の速さ＝機会の多さとなります。
国際大会は3～6か月前にエントリーが行われるため、早めの準備が必要です。

② ナショナルチームへの選出：強化指定選手/育成選手

★共通要件★

指定されるには「アスリートパスウェイ要綱」に定められた条件をクリアする必要がある

🔥 育成選手

- ★合宿参加（年2～3回程度）
- ★国際大会（連盟派遣の内、半数程度）
- ★国際経験構築段階
- ★基礎競技力向上支援
- ★国際大会で国際クラス分けを受検

国際経験を積む段階であり、国際大会参加を通じて、競技力と国際感覚を養う時期



👑 強化指定選手

- ★合宿参加（年8回程度）
- ★国際大会（連盟派遣の内、ほぼ全て）
- ★費用補助（国際大会参加、合宿、健康診断など）
- ★ナショナルチームのサポート

国際大会で結果を求められる層であり、代表としての責任を持ち、国際的な競争力を発揮する時期



日本パラ射撃連盟 ナショナルコーチ部会

③パラリンピック出場要件：MQS/DQ/国内選考

✓ MQS達成

大会要項にMQS（最低参加資格基準点）が定められています。

要件：対象大会で2回達成が必要です。
注意：MQSの達成だけでは出場できません。



✓ DQ獲得

配分大会にてDQ（出場枠）を獲得することが必要です。

要件：配分大会にてDQを獲得。
注意：大会によっては割り当てがない種目/性別がある場合も



✓ 国内選考

選考規程を満たし、代表に選出されることが必要です。

要件：別途選考規程に定める。
注意：国内競争も重要。
(過去実績) パリ2024は「DQ獲得選手を派遣」



LA2028大会の例

※日本に関係ある大会のみ



MQS獲得期間

2026年1月1日～2028年7月2日



DQ配分大会

※2026年5月現在の開催予定を含む

2026年09月 WSPS世界選手権・チャンウォン大会（韓国）

2026年10月 愛知名古屋アジアパラ競技大会（日本）

2026年12月 WSPSワールドカップ・アルアイン大会（U.A.E）

2027年03月 WSPSワールドカップ・シドニー大会（オーストラリア）

2027年09月 WSPS世界選手権・オシエク大会（クロアチア）

2027年未定 WSPSワールドカップ・ヒルスデイル大会（アメリカ）



日本パラ射撃連盟 ナショナルコーチ部会

パラ射撃 国際大会の格付け

	位置づけ	主な目的	特徴	開催頻度
パラリンピック (Paralympic Games)	★★★★★ 最高峰	・世界一の決定 ・国を上げた争い	・厳しい出場基準 ・出場枠制度(DQ) ・世界のトップ選手のみ出場	4年に1度
世界選手権 (World Championships)	★★★★☆ 非常に高い	・世界選手権争い ・パラリンピック出場権争い	・全種目実施される大規模大会 ・各国代表選手が出場 ・オープン参加は認められず、各国限られた選手数で挑む。	通常 2年に1度 (奇数年)
ワールドカップ (World Cup)	★★★☆☆ 高い	・パラ/世界選手権のMQS獲得 ・国際経験、実践強化	・世界各地で年間複数回開催 ・多くの選手が出場 ・大会によってはパラDQ配分も	毎年 2～3回
ワールドグランプリ (World GrandPrix)	★★★☆☆ 中～高	・国際大会の導入 ・国際クラス分け獲得	・参加しやすいエントリー条件 ・海外デビューに最適	毎年複数回

選手の成長・強化の流れ
(イメージ)

国際経験の入口
ワールドグランプリ

経験を積み、更なる高みへ
ワールドカップ

世界一を目指し、
出場枠を獲得
世界選手権

世界の頂点へ
パラリンピック

※別途、地域大会（アジアパラ競技会）が世界選手権と同レベルで実施されます。



日本パラ射撃連盟 ナショナルコーチ部会

ロサンゼルス2028パラリンピック 出場枠配分 早見表 (日本が出場可能な大会のみ抜粋)

年	大会	ライフル種目 (R)									ピストル種目 (P)			
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	P1	P2	P3	P4
①	2026 チャンウォン 世界選手権	2 (上位2名)	2 (上位2名)	2 (男1+女1)	2 (男1+女1)	2 (男1+女1)	2 (男1+女1)	2 (上位2名)	2 (上位2名)	2 (男1+女1)	2 (上位2名)	1 (1位)	2 (男1+女1)	1 (男1)
②	2026 名古屋 アジアパラ	1 (1位)	1 (1位)	1 (1位)	—	1 (男1)	1 (1位)	—	—	—	1 (1位)	1 (1位)	1 (1位)	2 (男1+女1)
③	2026 アルアイン ワールドカップ	1 (1位)	1 (1位)	2 (男1+女1)	2 (男1+女1)	2 (男1+女1)	1 (男1)	1 (1位)	1 (1位)	2 (男2)	1 (1位)	1 (1位)	2 (男1+女1)	2 (男1+女1)
④	2027 シドニー ワールドカップ	1 (1位)	1 (1位)	1 (男1)	2 (男2)	3 (男1+女2)	3 (男1+女2)	1 (1位)	1 (1位)	2 (男2)	1 (1位)	1 (1位)	1 (男1)	1 (女1)
⑥	2027 オシエク 世界選手権	2 (上位2名)	2 (上位2名)	3 (男1+女2)	2 (男1+女1)	2 (男1+女1)	2 (男2)	2 (上位2名)	2 (上位2名)	2 (男1+女1)	2 (上位2名)	2 (上位2名)	1 (男1)	1 (男1)
⑧	2028 ワールドカップ (予定)	1 (1位)	1 (1位)	3 (男2+女1)	2 (男1+女1)	2 (男1+女1)	2 (男1+女1)	2 (上位2名)	2 (上位2名)	1 (1位)	2 (上位2名)	1 (1位)	1 (女1)	1 (男1)

⚠配分は変更となる場合がございます。
必ず正規の要項をご確認ください。



JPSSF 日本パラ射撃連盟 ナショナルコーチ部会